

# リハビリ通信 (第58号)

編集・発行：長野県立総合リハビリテーションセンター「支援部」  
所在地：〒381-8577 長野県長野市大字下駒沢618-1  
TEL・FAX：026-296-3954  
E-mail：[reha-shien@pref.nagano.lg.jp](mailto:reha-shien@pref.nagano.lg.jp)  
ホームページ：<http://www.pref.nagano.lg.jp/rehabili/shogai/>

## ごあいさつ

支援部長 我山 公広

4月から、県総合リハビリテーションセンターの支援部長として、佐久児童相談所から異動してまいりました我山公広（がざんきみひろ）と申します。

当リハビリテーションセンター勤務は初めてのこととなりますが、皆様のご期待に沿えるよう頑張らせていただきたいと思います。

さて、昨年度当センターは台風19号による水害被災に遭いましたが、その後徐々に復旧作業が進められ、6月に非常用電源設備の整備が終了したことから、当センターの機能はほぼ復旧を果たし、通常業務を再開したところでした。

その一方で、新型コロナウイルス（COVID-19）の流行（いわゆる第1波）が長野県にも押し寄せ、当支援部においても面会の禁止、不要不急の外出・外泊の制限、通所利用の一時見合わせが行われ、利用者様にご不便をおかけしたり、本来提供すべきサービスの一部を制限したりするなど、ご迷惑を掛けながら利用者様の安全を担保しつつ、支援部の業務が継続できるよう模索を続けてまいりました。

現時点（令和2年7月中旬）では、面会の制限、外出・外泊時の健康チェック等は継続しておりますが、徐々に安全を担保しつつ、利用者様の日常の生活が行えるような支援を心がけ、対応を進めているところです。しかしながら現状を鑑みますと、再度の新型コロナウイルス流行（いわゆる第2波）や再度の水害等の天災が起きることは否定できません。職員一同はそのことを前提として日々の支援を心がけ、対応に努めてまいり所存です。

最後になりますが、当支援部の建物の2階部分に、県の機関である「精神保健福祉センター」が移転してくることになり、一部居室の削減・訓練室の移転を行うこととなりました。またそのための工事が行われることにより、利用者の皆様にご迷惑をおかけすることになってしまいますが、必要な情報を速やかに提供し、利用者様・ご家族様のご理解を得たいと考えております。

利用者・ご家族・関係者各位の皆様方には当面の間ご面倒をおかけいたしますが、なにとぞよろしくお願いいたします。

## 支援課の復旧

あの水害から早10か月。あの日、かさを増してゆく水の速さは想像以上でした。「陸の孤島」と報道された、当所の建物が泥水の中に浮かんでいるかのような景色は忘れようもありません。その後はひたすらあらゆる物を洗い、擦り、磨く毎日でした。職種に関係なく同じ作業に取り組むことで、職員間の結束が強まったように思えるのは、怪我の功名かもしれません。



ご利用者様、ご家族様には大変ご不便やご迷惑をお掛けし、申し訳ありませんでした。近隣や関係者の皆様にはご心配やお気遣いをいただき、感謝しております。昨年末から徐々にご利用者様にお戻りいただき、元のサービスを提供できるまでに復旧いたしました。今、施設棟の周囲には職員が植えた花や野菜が育っています。そして何と、水害の前に植えてあったトマトの実からも冬を越えて芽が出て、立派に育っています。今はその逞しさに、元気をもらっています。

【支援部生活支援課】

## 訓練課の復旧



当センターでは、自動車の運転訓練を行っています。今回の災害で運転コースが浸水被害を受け、水位は160cmにもなり、標識の上部まで水が達してしまいました。

運転コースも数センチの泥で覆われてしまい、教習車3台、信号機、研修室、除雪機及びシャッター等ほぼすべてのものが使えなくなり、当センターを利用される皆様には、ご心配やご迷惑をおかけしまして申し訳ありませんでした。



2月には、寄付していただいた2台の教習車で訓練を再開することが出来ました。翌月には、3台の教習車が揃い、以前のように運転訓練が出来るようになりました。今回の被災を一つの教訓とするとともに、今後も皆様方により良いサービスを提供させていただきたいと思っております。

【支援部訓練課】

## ✿編集後記✿

最後までお読みいただきありがとうございました。支援部のリハビリ通信を発行するのは令和元年度7月以来となりました。次回のリハビリ通信の発行は来年2月を予定しています。ホームページも合わせてご覧ください。